

第2章 空間のベクトル

1 空間の点

[1] 空間の点の座標

- 1  $x$  軸,  $y$  軸,  $z$  軸上の点は, それぞれ  $(a, 0, 0)$ ,  $(0, b, 0)$ ,  $(0, 0, c)$  と表される。
- 2  $xy$  平面,  $yz$  平面,  $zx$  平面上の点は, それぞれ  $(a, b, 0)$ ,  $(0, b, c)$ ,  $(a, 0, c)$  と表される。

[2] 対称な点の座標

- 原点, 座標軸, 座標平面に関して, 点  $(a, b, c)$  と対称な点の座標は次のようになる。
- 1 原点:  $(-a, -b, -c)$
- 2  $x$  軸:  $(a, -b, -c)$ ,  $y$  軸:  $(-a, b, -c)$ ,  
 $z$  軸:  $(-a, -b, c)$
- 3  $xy$  平面:  $(a, b, -c)$ ,  $yz$  平面:  $(-a, b, c)$ ,  
 $zx$  平面:  $(a, -b, c)$

[3] 2点間の距離

- 2点  $A(x_1, y_1, z_1)$ ,  $B(x_2, y_2, z_2)$  間の距離は
$$AB=\sqrt{(x_2-x_1)^2+(y_2-y_1)^2+(z_2-z_1)^2}$$
- とくに, 原点  $O$  と点  $A$  の距離は
$$OA=\sqrt{x_1^2+y_1^2+z_1^2}$$

2 空間のベクトル

[1] 空間のベクトル

空間における有向線分で向きと大きさを表す。  
空間ベクトルの和, 差, 実数倍の定義も, 平面上の場合と同様である。平面上のベクトルについて成り立つ性質は, 空間のベクトルに対してもそのまま成り立つ。

[2] ベクトルの分解

- 異なる4点  $O, A, B, C$  が同じ平面上にないとき,  $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ ,  $\overrightarrow{OC}=\vec{c}$  とすると, 空間のどんなベクトル  $\vec{p}$  も, 次の形にただ1通りに表される。
- $$\vec{p}=s\vec{a}+t\vec{b}+u\vec{c} \quad \text{ただし, } s, t, u \text{ は実数}$$
- [参考] 空間におけるこのような3つのベクトル  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  は **1次独立** であるという。

3 ベクトルの成分

[1] ベクトルの成分表示

- 基本ベクトル  $\vec{e}_1, \vec{e}_2, \vec{e}_3$   $x$  軸,  $y$  軸,  $z$  軸の正の向きと同じ向きの単位ベクトル
$$\vec{e}_1=(1, 0, 0), \vec{e}_2=(0, 1, 0), \vec{e}_3=(0, 0, 1)$$
- $\vec{a}=\overrightarrow{OA}$  である点  $A$  の座標が  $(a_1, a_2, a_3)$  のとき
$$\vec{a}=a_1\vec{e}_1+a_2\vec{e}_2+a_3\vec{e}_3$$
$$\vec{a}=(a_1, a_2, a_3) \quad (\vec{a} \text{ の成分表示})$$
- ベクトルの相等  $\vec{a}=(a_1, a_2, a_3), \vec{b}=(b_1, b_2, b_3)$  について
$$\vec{a}=\vec{b} \iff a_1=b_1, a_2=b_2, a_3=b_3$$
- ベクトルの大きさ  $\vec{a}=(a_1, a_2, a_3)$  のとき  $|\vec{a}|=\sqrt{a_1^2+a_2^2+a_3^2}$

[2] 和, 差, 実数倍の成分表示

- $$(a_1, a_2, a_3)+(b_1, b_2, b_3)=(a_1+b_1, a_2+b_2, a_3+b_3)$$
- $$(a_1, a_2, a_3)-(b_1, b_2, b_3)=(a_1-b_1, a_2-b_2, a_3-b_3)$$
- $$k(a_1, a_2, a_3)=(ka_1, ka_2, ka_3) \quad \text{ただし, } k \text{ は実数}$$

[3] 2点A, Bとベクトル $\overrightarrow{AB}$

- 2点  $A(a_1, a_2, a_3)$ ,  $B(b_1, b_2, b_3)$  について
$$\overrightarrow{AB}=(b_1-a_1, b_2-a_2, b_3-a_3)$$
$$|\overrightarrow{AB}|=\sqrt{(b_1-a_1)^2+(b_2-a_2)^2+(b_3-a_3)^2}$$

4 ベクトルの内積

[1] ベクトルの内積

- $\vec{a}\neq\vec{0}, \vec{b}\neq\vec{0}$  のとき,  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角を  $\theta$  ( $0^\circ\leq\theta\leq180^\circ$ ) とすると
$$\vec{a}\cdot\vec{b}=|\vec{a}||\vec{b}|\cos\theta$$
- [注]  $\vec{a}=\vec{0}$  または  $\vec{b}=\vec{0}$  のときは,  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  の内積を  $\vec{a}\cdot\vec{b}=0$  と定める。
- [2] 内積と成分  $\vec{a}=(a_1, a_2, a_3), \vec{b}=(b_1, b_2, b_3)$  とする。
- 1  $\vec{a}\cdot\vec{b}=a_1b_1+a_2b_2+a_3b_3$
- 以下,  $\vec{a}\neq\vec{0}, \vec{b}\neq\vec{0}$  とする。

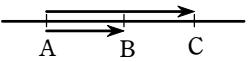
- 2  $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角を  $\theta$  ( $0^\circ\leq\theta\leq180^\circ$ ) とすると
$$\cos\theta=\frac{\vec{a}\cdot\vec{b}}{|\vec{a}||\vec{b}|}=\frac{a_1b_1+a_2b_2+a_3b_3}{\sqrt{a_1^2+a_2^2+a_3^2}\sqrt{b_1^2+b_2^2+b_3^2}}$$
- 3 垂直条件  $\vec{a}\perp\vec{b} \iff \vec{a}\cdot\vec{b}=0 \iff a_1b_1+a_2b_2+a_3b_3=0$
- 4 平行条件  $\vec{a}\parallel\vec{b} \iff \vec{a}\cdot\vec{b}=\pm|\vec{a}||\vec{b}| \quad \leftarrow \theta=0^\circ, 180^\circ$
- [3] 内積の性質
- 平面上のベクトルの場合と同様に, 次のことが成り立つ。
- 1  $\vec{a}\cdot\vec{a}=|\vec{a}|^2$
- 2  $\vec{a}\cdot\vec{b}=\vec{b}\cdot\vec{a}$
- 3  $(\vec{a}+\vec{b})\cdot\vec{c}=\vec{a}\cdot\vec{c}+\vec{b}\cdot\vec{c}$
- 4  $\vec{a}\cdot(\vec{b}+\vec{c})=\vec{a}\cdot\vec{b}+\vec{a}\cdot\vec{c}$
- 5  $(k\vec{a})\cdot\vec{b}=\vec{a}\cdot(k\vec{b})=k(\vec{a}\cdot\vec{b})$   ただし,  $k$  は実数

5 ベクトルの図形への応用

[1] 位置ベクトル

- 平面上のベクトルの場合と同様に, 次のことが成り立つ。
- 1 2点  $A(\vec{a}), B(\vec{b})$  に対して  $\overrightarrow{AB}=\vec{b}-\vec{a}$
- 2 2点  $A(\vec{a}), B(\vec{b})$  に対して, 線分  $AB$  を  $m:n$  に内分する点,  $m:n$  に外分する点の位置ベクトルは, それぞれ
$$\text{内分}\cdots\frac{n\vec{a}+m\vec{b}}{m+n}, \quad \text{外分}\cdots\frac{-n\vec{a}+m\vec{b}}{m-n}$$
- とくに, 線分  $AB$  の中点の位置ベクトルは
$$\frac{\vec{a}+\vec{b}}{2}$$
- 3 3点  $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の重心  $G$  の位置ベクトル  $\vec{g}$  は
$$\vec{g}=\frac{\vec{a}+\vec{b}+\vec{c}}{3}$$

[2] 一直線上にある点

- 2点  $A, B$  が異なるとき  
点  $C$  が直線  $AB$  上にある
$$\iff \overrightarrow{AC}=k\overrightarrow{AB} \text{ となる実数 } k \text{ がある}$$
- 

[3] 平面ABC上の点の位置ベクトル

- 一直線上にない3点  $A, B, C$  と点  $P$  について
- 1 点  $P$  が平面  $ABC$  上にある
$$\iff \overrightarrow{CP}=s\overrightarrow{CA}+t\overrightarrow{CB} \text{ となる実数 } s, t \text{ がある}$$
- 2 点  $P(\vec{p})$  が平面  $ABC$  上にある
$$\iff \vec{p}=s\vec{a}+t\vec{b}+u\vec{c}, s+t+u=1 \text{ となる実数 } s, t, u \text{ がある}$$

6 座標空間における図形

[1] 2点間の距離と内分点・外分点

- 2点  $A(a_1, a_2, a_3), B(b_1, b_2, b_3)$  について
- 1  $A, B$  間の距離は  $AB=\sqrt{(b_1-a_1)^2+(b_2-a_2)^2+(b_3-a_3)^2}$
- 2 線分  $AB$  を  $m:n$  に内分する点の座標は
$$\left(\frac{na_1+mb_1}{m+n}, \frac{na_2+mb_2}{m+n}, \frac{na_3+mb_3}{m+n}\right)$$
- 線分  $AB$  を  $m:n$  に外分する点の座標は
$$\left(\frac{-na_1+mb_1}{m-n}, \frac{-na_2+mb_2}{m-n}, \frac{-na_3+mb_3}{m-n}\right)$$

[2] 座標平面に平行な平面の方程式

- 点  $A(a, 0, 0)$  を通り,  $yz$  平面に平行な平面の方程式は  $x=a$  [ $x$  軸に垂直]
- 点  $B(0, b, 0)$  を通り,  $zx$  平面に平行な平面の方程式は  $y=b$  [ $y$  軸に垂直]
- 点  $C(0, 0, c)$  を通り,  $xy$  平面に平行な平面の方程式は  $z=c$  [ $z$  軸に垂直]

[3] 球面の方程式

- 1 点  $(a, b, c)$  を中心とする半径  $r$  の球面の方程式は
$$(x-a)^2+(y-b)^2+(z-c)^2=r^2$$
- とくに, 原点を中心とする半径  $r$  の球面の方程式は
$$x^2+y^2+z^2=r^2$$
- 2 一般形
$$(x-a)^2+(y-b)^2+(z-c)^2=r^2$$
 を展開すると, 球面の方程式は, 一般に次の形であることがわかる。
$$x^2+y^2+z^2+kx+ly+mz+n=0 \quad (\text{ただし, } k^2+l^2+m^2-4n>0)$$

4 平面の方程式 発展

A (x<sub>1</sub>, y<sub>1</sub>, z<sub>1</sub>) を通りベクトル  $\vec{n}=(a, b, c) (\neq \vec{0})$  に垂直な平面を  $\alpha$  とする。

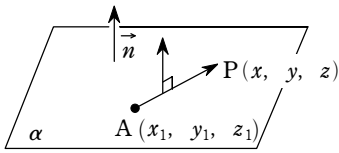
$\alpha$  上の任意の点 P (x, y, z) について

$\vec{n} \cdot \overrightarrow{AP}=0$  [平面のベクトル方程式]

が成り立つから、 $\alpha$  の方程式は

$a(x-x_1)+b(y-y_1)+c(z-z_1)=0$

このことから、平面の方程式は、 $x, y, z$  についての 1 次方程式で表されることがわかる。



5 直線の方程式 発展

A ( $\vec{a}$ ), B ( $\vec{b}$ ) とし、 $s, t$  は実数の変数とする。

1 点 A を通り、 $\vec{d} (\neq \vec{0})$  に平行な直線  $\vec{p}=\vec{a}+t\vec{d}$

A (x<sub>1</sub>, y<sub>1</sub>, z<sub>1</sub>),  $\vec{d}=(l, m, n)$ ,  $\vec{p}=(x, y, z)$  とすると

$(x, y, z)=(x_1, y_1, z_1)+t(l, m, n)$

$x=x_1+lt, y=y_1+mt, z=z_1+nt$  [直線の媒介変数表示]

参考 変数  $t$  を消去すると、次の式が得られる。

$\frac{x-x_1}{l}=\frac{y-y_1}{m}=\frac{z-z_1}{n}$  [直線の方程式]

2 異なる 2 点 A, B を通る直線

$\vec{p}=(1-t)\vec{a}+t\vec{b}$

または  $\vec{p}=s\vec{a}+t\vec{b}$  ただし  $s+t=1$